

2017 第71回
読書週間
10/27(金)～11/9(木) 14日間



本に恋する季節です!

10月27日は文字・読書文化の日
読書週間実行委員会主催
読書週間実行委員会
読書週間実行委員会
読書週間実行委員会

今年の秋の読書週間は、
10月27日(金)～11月9日(木)
の二週間です。『恋はするものじゃなく、おちるものだ』
と『東京タワー』(著:江國香織 発行:マガジンハウス)
にあります。今年の読書週間で、そんな本に出会えるか
もしれませんね。ぜひ本を借りて読んでみましょう。

本に恋する季節です!



名張市学校図書館だより 中学校版 平成二十九年読書の秋号 発行:教育センター



文化の日＝漫画の日?

『読書週間』は、文化の日(11月3日)を中心にした2週間です。そして、『文化の日』は『漫画の日』でもあります。外国では『cool Japan』(カッコいい日本)として、すっかり日本の文化となった「漫画」。ふだん悪者にされがちな「漫画」は、どのようにしてできたのでしょうか?

漫画の始まりはよくわかっていませんが、平安時代の絵巻物『鳥獣人物戯画』が最古の漫画ではないか、とされています。そして江戸時代の葛飾北斎の『北斎漫画』、戦後の手塚治虫と、漫画の歴史は続いてきました。

そんな漫画も、すんなりと受け入れられたわけではありません。1955年、手塚治虫の漫画などを「子どもに悪影響を与える悪書」として、悪書追放運動が始まります。手塚の漫画に出てくるロボットや高速道路などの表現が、『到底実現するはずのない荒唐無稽なもの』とされていたのです。今では科学が発展し、ロボットも高速道路も普通になりました。手塚治虫の漫画も図書室に置かれていますが、そんなことがあったなんて、今ではとても信じられませんね。

今回のおしらせ

●秋の読書週間
●漫画の名言



手塚治虫ってどんな人?

手塚治虫はチョコレートが大好きで、マンガを描いている時は手放せなかったそうです。当時高校生だった松本零士がアシスタントに行ったとき、『チョコがないと描けない!』と編集者に訴えていたとか。また、2014年に25年ぶりに開いたという手塚治虫の机の引き出しの中からも、食べかけのチョコレートが出てきました。他にも、食べ物に関しては色々周りの人を困らせていたようです。真冬にスイカが食べたいと言ったり、六本木のメロンが食べたいと言ったり…。当時はコンビニなんてありませんから、アシスタントさんたちがなんとか見つけたそうです。手塚治虫には、こんなわがままな一面もあったのですね。



ブラックジャック
創作秘話 (秋田書店)

心にひびくマンガの名言

図書室になかなかない漫画。図書室においてないものでも、おすすめの漫画はいっぱいあります。本を読むのが苦手な人でも、「漫画なら大好き！」という人は多いと思います。そんな漫画から、名言（なるほどと思うような、すぐれた言葉）を集めた本があります。それは、学研から出ている【心にひびくマンガの名言】シリーズです。この本は、いろいろな漫画から名言を紹介しています。その中から、いくつか名言を紹介したいと思います。もしかしたら、みなさんも知っている名言があるかもしれませんね。

『1巻 心が強くなる』 40 ページより

なにができない なんてのは たいしたことねえぞ

なにができるのか なんだ 『ほのぼの』（作：いがらしみきお
発行：竹書房）

なかなかうまく木に登れないラッコのぼのぼのに、友だちのアライグマくんのお父さんがやってきて、ぼのぼのに言ったセリフです。苦手を克服するのは大事なことです。しかし、できないことばかりを考えて、自信を無くすよりも、『今、自分にできることは何か』に目をむけるのも大事ですね。あなたは、今、何ができますか？

『3巻 気持ちがラクになる』 34 ページより

迷った時はね、「どっちが正しいか」なんて考えちゃダメよ

「どっちが楽しいか」で決めなさい 『宇宙兄弟』（作：小山宙哉
発行：講談社）

主人公の六太は宇宙飛行士の試験を一緒に受けた仲間の中から、合格者を自分たちで選ぶことになります。しかし、誰を合格させるのが正しいのか、とても悩みます。その時六太は、お世話になった人の、この言葉を思い出すのです。みなさんも、ふだん「ほめられる方はどっちか？」「怒られない方はどっちか？」なんて考えたことはありませんか？悩んだ時、迷った時は、楽しい方を選んでみてはどうでしょう？ほら！何だかワクワクしてきませんか？

編集後記

「心にひびくマンガの名言」は、「本当にこれでいいの？」と思うものもあります。たとえば、3巻40ページの『遊んでいいわけねーじゃん！でも遊ぼうぜ！』（出典：あずまんが大王 作：あずまきよひこ 発行：KADOKAWA）も、そのひとつ。受験を控えた夏休み、海に来たのはいいけれど、勉強しなくていいのか気になっていたときのセリフです。やるべきことをきちんとやったあとなら、勉強を気にしないで思いっきり遊べますね。

